

次期航空 NACCS 稼働までの スケジュールについて

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

平成21年3月24日

次期航空 NACCS の稼働開始予定は、昨年掲示板等でご案内のとおり、当時の更改海上 NACCS の開発状況等を踏まえ「平成 22 年 2 月」とすることとした。次期航空 NACCS 稼働に向けての各種スケジュールは、右図のとおりである。

1. 接続試験・EDI仕様説明会（自社システム利用者）、利用申込み等説明会（全利用者）

3月5日に自社システム利用者向けに「接続試験・EDI仕様説明会」を開催した。

3月23日からは、全国の航空拠点において利用申込とシステム設定情報の調査についての説明会を実施することとしている。

2. 接続試験（自社システム利用者）

7月から10月中旬までに全自社システム利用者を対象とした接続試験を実施する。

パッケージソフト利用者の試験については、総合運転試験の際に実施することとしている。

3. 総合運転試験説明会及び総合運転試験（全利用者）

11月頃にパッケージソフト利用者宛にパッケージソフトを送付する。総合運転試験前までにインストールを実施し、初期設定をする必要があるが、その方法等については、総合運転試験説明会でご説明させていただくこととしている。

総合運転試験は、次期航空 NACCS の円滑な稼働開始を図るため、民間利用者システム、税関システムの業務機能確認及び関連省庁システムとのインターフェース機能の確認並びに利用者の習熟訓練を行うことを目的として実施する。

試験期間は、21年12月から22年2月までを予定しており、次のフェーズで実施することとしている。試験対象はいずれも全利用者である。

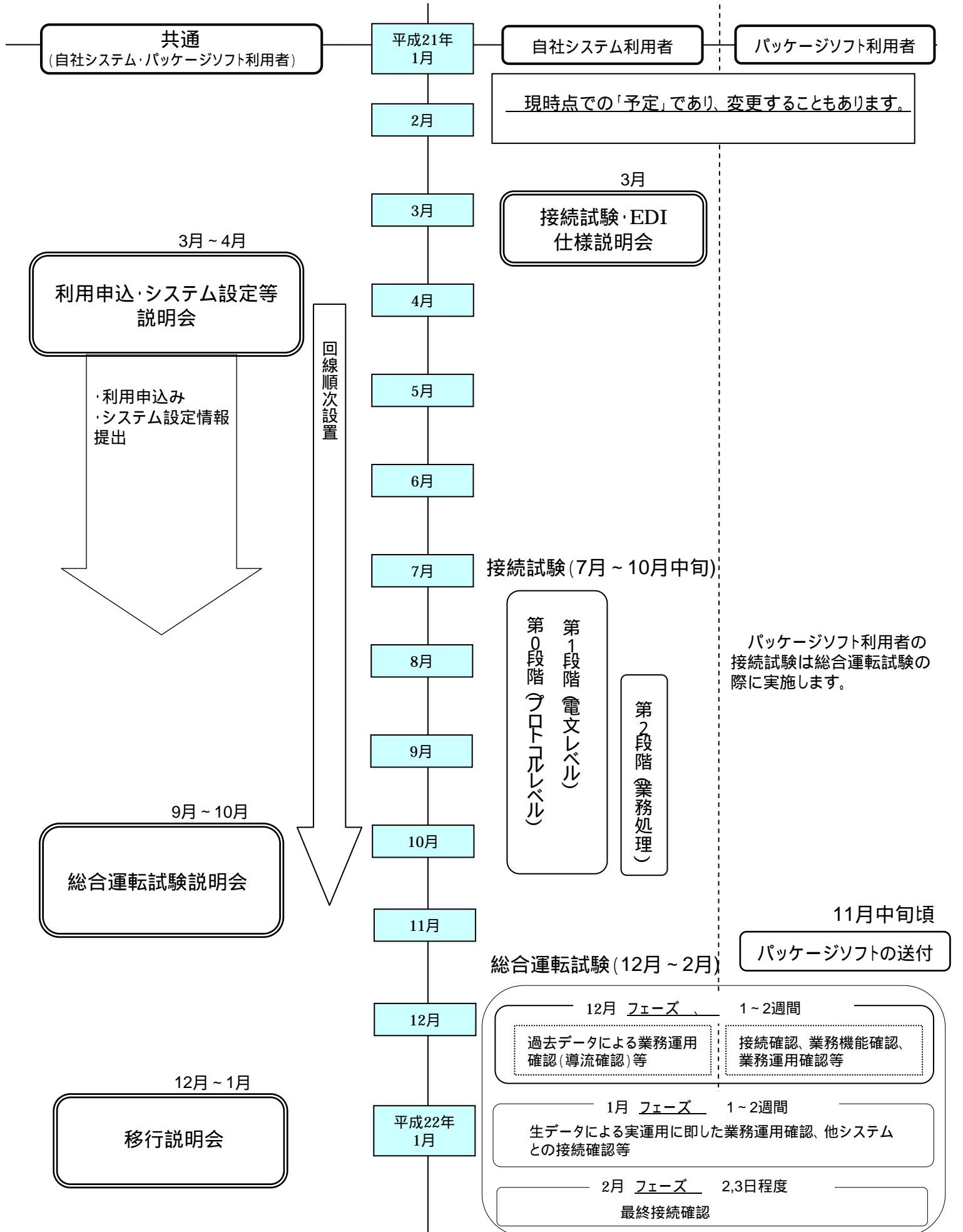
- 21年12月上旬にフェーズ（接続確認、業務機能確認、業務運用確認等）を1～2週間
- 22年1月にフェーズ（生データによる実運用に即した業務運用確認等）を1～2週間
- 22年2月上旬にフェーズ（最終接続確認試験）を2、3日程度

4. 移行説明会及び移行（全利用者）

現行航空 NACCS から次期航空 NACCS への移行方式は現在検討中であるが、基本的には、いったん現行システムを停止し、その間に、移行対象となる情報を新システムへ一括して移行する「一括移行方式」により移行する予定としていることから、システムを利用できない時間が発生する。

そのため、移行に係る運用等が必要であるが、業務への影響を最小限となるよう、主要空港における通関体制や深夜便の運航を考慮した移行日時及び移行時間、前回よりも短いシステム停止時間となるよう検討を進めている。

別添資料1: 次期航空NACCS稼働までのスケジュール



次期Air-NACCS稼働 (平成22年2月予定)